

事業名：民間保育所運営費補助金（民間社会福祉施設運営費補助金）

保育課 保育係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	02 未就学期児童への支援								
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
社会福祉法人が運営する市内の認可保育所 【平成22年4月から学校法人が運営する市内認可保育所も対象】	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市民間保育所運営費補助要綱により保育所賠償責任保険等加入補助・牛乳補助・調理人雇用費補助・非常勤調理員加配置分補助・障がい児保育補助等を前期と後期に分けて交付する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
民間認可保育所の安定した運営を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	補助対象施設（保育所）数	施設	8	8	8	9
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	60,986	73,824	77,905	78,363
活動指標2						
成果指標1	補助金交付により、健全な運営状態にある民間認可施設（保育所）数	施設	8	8	8	9
成果指標2						
事業費(A)		千円	60,986	73,824	77,904	78,363
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	3,125	2,347
総事業費(A+B)		千円	63,394	76,229	81,029	80,710

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	民間認可保育所の安定した運営を図るため江別市民間保育所運営費補助要綱により補助を行う。	負担金・補助及び交付金 77,905千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
昭和50年代の著しい人口増加に伴い、それに見合う施設整備が危惧されたことから昭和52年に本事業を開始。その後、法改正により民営化については株式会社の参入も可能となった。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 少子化が進展する中においても非正規職員としての雇用が中心に女性の就労機会は増加しており、保育に欠ける子どもも増加しており、行政のみでは保育体制を整備していくのが困難であることから、民間の認可保育所に財政的な支援を行なうことにより安定した運営を維持させるとともに待機児童の解消と安心して子育てができる体制を整備するもので妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 就労形態の多様化に伴う、保育ニーズに応えるもので、安心して子育てができる体制の整備とともに、ワーク・ライフ・バランスの推進にも繋がり、貢献度は大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 保育に欠ける児童の受入れ体制を整備することにより、安心して仕事に取り組めるなど、多様化する保育ニーズある程度応えることができることから成果が上がっている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 現状の補助金交付事業により民間認可保育所の健全な運営状態とともに安心して子育てができる体制が確保されている。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠 江別市民間保育所運営費補助要綱に基づき実施している事業のためコスト削減の余地はない。